

あっ！ ～子どもの指さし～

乳児期は、安心し、信頼できる大人に見守られながら、物の世界に関心を示すようになります。それによって発達してくるのが指さしです。



あっあっ！

自発の指さし

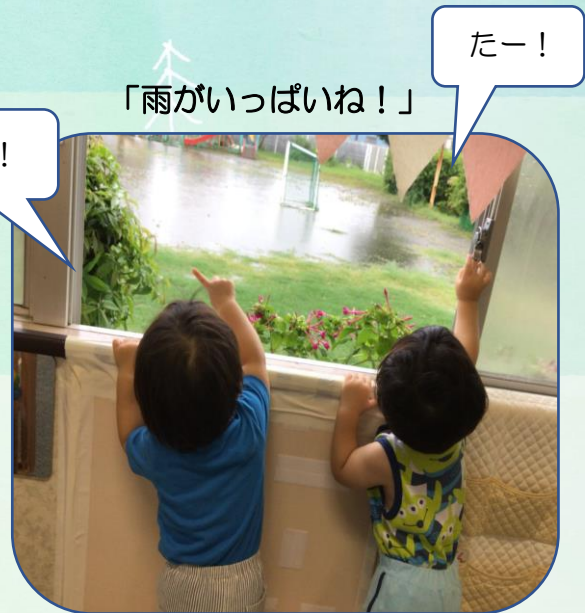
要求の指さし



ごーってった！

共感の指さし

あたー！



「雨がいっぱいね！」

たー！

応答の指さし

- ・興味があるものを知らせる（自発の指さし）
- ・ほしいものを訴える（要求の指さし）
- ・見つけたものを人と共有しようとする（共感の指さし）
- ・質問に対して、指し示して答える（応答の指さし）

子どもは、指さした後一緒に見てほしい人の顔を確認します。その時、子どもが指さした物を見て「飛行機がごーって飛んでいったね」「フワフワだね。お花だね」などその子の思いを言葉にして応えます。

子どもの指さしや視点に気づき、思いや状況を言葉にすることで、指さす行為と言葉が結びつき、コミュニケーション力や言葉の発達を促していきます。